

### ボルグワーナー、プレミアム欧州OEMとの取引で イー・ヒーター事業を拡大

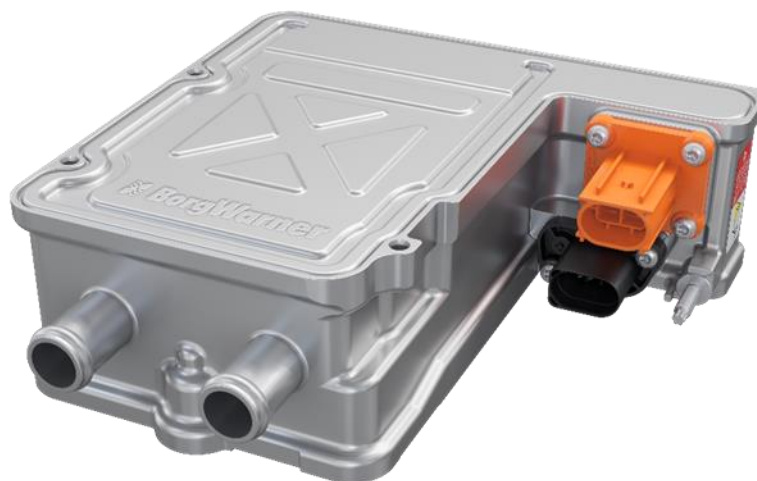
- バッテリーの熱マネジメントを最適化する800V 3kWの高電圧クーラントヒーター、バッテリーの性能向上及び電気自動車の航続距離延伸を実現
- 堅牢な厚膜素子技術により、高速応答と長寿命を達成

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(NYSE: BWA/ 本社: アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者: フレデリック・リサルド/Frederic B.Lissalde)は、2023年8月2日、欧州のプレミアム OEM が開発した中型電気自動車プラットフォーム向けの高電圧クーラントヒーター(HVCH)を受注しました。同取引は2022年7月に同社の小型電気自動車プラットフォーム向けに同製品を初めて供給して以来となります。800V 3kW HVCH 単板ヒーターは、欧州およびアジア太平洋市場向け電動車両のバッテリー温度を最適に保つために使用されます。

ボルグワーナー・エミッション/サーマル/ターボ・システムズ社の社長兼事業本部長のジョー・ファドール(Joe Fadool)は、「欧州の顧客である同 OEM への高電圧クーラントヒーターの納入実績が大幅に拡大することになります。ボルグワーナーの先進的な熱マネジメントシステムの卓越した効率と性能が認められ、引き続き選ばれたことを嬉しく思います。今後も顧客の電動化へのシフトを喜んでサポートする所存です」と述べています。

電気自動車の性能を最適化するにはバッテリーシステムにおける熱マネジメントが不可欠です。バッテリーパック内の温度を管理することでエネルギー出力を最大化し、高い熱出力密度と高速応答性を実現します。ボルグワーナーのHVCHは、ステンレス鋼の基盤に最新の厚膜発熱体(TFE)を採用したコンパクトな設計が特徴です。TFEから発生する熱は、一連のフィンを介して効率的に冷却水に伝導されます。加熱ユニットは、熱衝撃、振動、機械的ストレスに耐える堅牢なアルミダイキャストハウジングにパッケージされており、高い電磁シールド性を発揮し、製品寿命を延ばします。

ボルグワーナーの電気自動車向け HVCH の生産開始は、2025 年の予定です。



ボルグワーナーの高電圧クランクヒーターは、バッテリーの性能を最適に維持し、航続距離を延伸します

## ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130 年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれるかまたは言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の直近のForm 10-K年次報告書（以下、「Form 10-K」）の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と認識を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきものではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の代表的な例として次のものがあげられます。当社または当社顧客に影響を及ぼす供給停止(受託製造会社(OEM)顧客および当社を含むそのサプライヤーに影響を与えている現在の半導体チップ不足等)、商品の入手可能性や価格及びこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと、OEM顧客を含む既存および新規競合会社との競合、急速に変化するテクノロジー(主に電気自動車関連)およびそれに対する当社の革新能力に関連する課題、新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる生産停滞等)、電気自動車の需要予測および電気自動車売上成長率の予測の困難、ロシアのウクライナ侵攻によ

る世界経済の潜在的混乱、買収対象を特定し許容できる条件で買収を完了する能力、買収から期待される利益の適時な実現の不実施、分割取引が意図した利益を達成できない可能性、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右され、需要縮小の可能性がある)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、金利の変動および外貨の為替レートの変動、様々な情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な申し立てに関する訴訟を含む、既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府の調査の行方、当社が事業を展開している国における税金や関税などの法規制の将来的な変更、将来の買収または売却の可能性がもたらす影響、直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、小野田

TEL:070-4303-7215(中井)、090-9031-5032(小野田)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp